

事務事業名		鹿の森公園管理運営業務委託		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業			
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目			
	施策名	23 豊かな地域資源を活用した観光の振興				会計	款	項	目
	基本事業名	02 観光資源の発掘と連携		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成4 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		01	06	02	05
根拠法令									
所属	部課名	農林水産部農林課							
	係名	農林土木係	電話	27-3111					
			内線	7125					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)			
鹿の森公園は温浴施設や宿泊施設、バーベキューハウス等を備え、市民の保健休養、森林愛護及び環境保全意識の醸成、自然とその資源をいかしたまちづくりを推進することを目的に整備された森林レクリエーション施設であり、これらの施設を市民や市外の観光客に安全で快適に利用してもらうよう、指定管理者に委託して適切に管理運営する事業。 主な業務内容 ①施設維持管理を指定管理者(三陸ふるさと振興株式会社)に業務委託するための契約事務 ②施設の利用状況の確認及び実地調査 ③指定管理者に対する管理業務、経営状況等に関する指導 事業費は、公園の草刈り・清掃、宿泊施設・温浴施設・消防設備・浄化槽施設・電気設備等の点検や維持管理、鹿飼養業務の管理人件費として委託料から支出される。						総投入量(千円)	事業費	国庫支出金	
								都道府県支出金	
								地方債	
								その他	
								一般財源	
							事業費計(A)	0	
						人件費	正規職員従事人数		
							延べ業務時間		
							人件費計(B)	0	
							トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
前年度実績(前年度に行った主な活動)	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 鹿の森公園施設修繕件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>イ 営業日数(遊・you・亭夏虫)</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>ウ 年間利用者数(遊・you・亭夏虫、お湯っこ)</td> <td>人</td> </tr> </table>	名称	単位	ア 鹿の森公園施設修繕件数	件	イ 営業日数(遊・you・亭夏虫)	日	ウ 年間利用者数(遊・you・亭夏虫、お湯っこ)	人
名称	単位								
ア 鹿の森公園施設修繕件数	件								
イ 営業日数(遊・you・亭夏虫)	日								
ウ 年間利用者数(遊・you・亭夏虫、お湯っこ)	人								
今年度計画(今年度に計画している主な活動)									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)								
・鹿の森公園の施設 ・鹿の森公園利用者(市民、観光客)	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 維持管理施設数</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>キ 年間利用計画者数(市民等)</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 維持管理施設数	箇所	キ 年間利用計画者数(市民等)	人	ク	
名称	単位								
カ 維持管理施設数	箇所								
キ 年間利用計画者数(市民等)	人								
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
・安全で快適に利用してもらう ・施設が円滑に管理される。	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 年間利用計画達成率(延べ利用者数/利用計画者数)</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>シ 延べ利用者数(遊・you・亭夏虫、夏虫のお湯っこ)</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	サ 年間利用計画達成率(延べ利用者数/利用計画者数)	%	シ 延べ利用者数(遊・you・亭夏虫、夏虫のお湯っこ)	人	ス	
名称	単位								
サ 年間利用計画達成率(延べ利用者数/利用計画者数)	%								
シ 延べ利用者数(遊・you・亭夏虫、夏虫のお湯っこ)	人								
ス									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)									
・体験してもらう。 ・観光メニュー・ルートを開発する。									

(2) 総事業費・指標等の推移																																																																																																																																																																				
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th rowspan="2">年度</th> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(目標)</th> <th>25年度(目標)</th> <th>26年度(目標)</th> <th>27年度(目標)</th> <th>28年度(目標)</th> </tr> <tr> <th>単位</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> <tr> <td rowspan="5">投入量</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>10,453</td> <td>6,000</td> <td>6,000</td> <td>6,000</td> <td>6,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>10,453</td> <td>6,000</td> <td>6,000</td> <td>6,000</td> <td>6,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td>150</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>600</td> <td>400</td> <td>400</td> <td>400</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td></td> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>11,053</td> <td>6,400</td> <td>6,400</td> <td>6,400</td> <td>6,400</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑤活動指標</td> <td>ア</td> <td>件</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>日</td> <td>365</td> <td>365</td> <td>365</td> <td>365</td> <td>365</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td>人</td> <td>89,206</td> <td>80,000</td> <td>80,000</td> <td>80,000</td> <td>80,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑥対象指標</td> <td>カ</td> <td>箇所</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td>人</td> <td>77,000</td> <td>77,000</td> <td>77,000</td> <td>77,000</td> <td>77,000</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">⑦成果指標</td> <td>サ</td> <td>%</td> <td>115.9</td> <td>103.9</td> <td>103.9</td> <td>103.9</td> <td>103.9</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td>人</td> <td>1,321,433</td> <td>1,401,433</td> <td>1,481,433</td> <td>1,561,433</td> <td>1,641,433</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		事業費	年度	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)	単位						投入量	国庫支出金	千円						都道府県支出金	千円						地方債	千円						その他	千円						一般財源	千円	10,453	6,000	6,000	6,000	6,000		事業費計(A)	千円	10,453	6,000	6,000	6,000	6,000		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1		延べ業務時間	時間	150	100	100	100	100		人件費計(B)	千円	600	400	400	400	400		トータルコスト(A)+(B)	千円	11,053	6,400	6,400	6,400	6,400	⑤活動指標	ア	件	5	5	5	5	5	イ	日	365	365	365	365	365	ウ	人	89,206	80,000	80,000	80,000	80,000	⑥対象指標	カ	箇所	4	4	4	4	4	キ	人	77,000	77,000	77,000	77,000	77,000	ク							⑦成果指標	サ	%	115.9	103.9	103.9	103.9	103.9	シ	人	1,321,433	1,401,433	1,481,433	1,561,433	1,641,433	ス													
事業費	年度			23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)																																																																																																																																																											
		単位																																																																																																																																																																		
投入量	国庫支出金	千円																																																																																																																																																																		
	都道府県支出金	千円																																																																																																																																																																		
	地方債	千円																																																																																																																																																																		
	その他	千円																																																																																																																																																																		
	一般財源	千円	10,453	6,000	6,000	6,000	6,000																																																																																																																																																													
	事業費計(A)	千円	10,453	6,000	6,000	6,000	6,000																																																																																																																																																													
	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1																																																																																																																																																													
	延べ業務時間	時間	150	100	100	100	100																																																																																																																																																													
	人件費計(B)	千円	600	400	400	400	400																																																																																																																																																													
	トータルコスト(A)+(B)	千円	11,053	6,400	6,400	6,400	6,400																																																																																																																																																													
⑤活動指標	ア	件	5	5	5	5	5																																																																																																																																																													
	イ	日	365	365	365	365	365																																																																																																																																																													
	ウ	人	89,206	80,000	80,000	80,000	80,000																																																																																																																																																													
⑥対象指標	カ	箇所	4	4	4	4	4																																																																																																																																																													
	キ	人	77,000	77,000	77,000	77,000	77,000																																																																																																																																																													
	ク																																																																																																																																																																			
⑦成果指標	サ	%	115.9	103.9	103.9	103.9	103.9																																																																																																																																																													
	シ	人	1,321,433	1,401,433	1,481,433	1,561,433	1,641,433																																																																																																																																																													
	ス																																																																																																																																																																			

事務事業ID	0575	事務事業名	鹿の森公園管理運営業務委託
--------	------	-------	---------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 市民の保健休養、森林愛護及び環境保全意識の醸成、自然とその資源をいかしたまちづくりを推進するため「緑と鹿のふれあい広場（バーベキューハウス）」「ふるさとふれあい公園」「森林総合利用施設（遊・you・亭夏虫）」の3つの施設を包括して平成4年4月1日から運営を開始した。さらに、平成8年10月1日には「森林体験交流センター施設（夏虫のお湯っこ）」の運営も開始された。	
② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ ・平成8年度に入浴施設「夏虫のお湯っこ」を開業したが、平成12年5月に大船渡市内に気仙初の本格的な温泉として第三セクターが運営する五葉温泉が開業し、平成16年4月には、近隣の陸前高田市が広田町に整備した黒崎温泉保養センターが開業するなど、経営環境が厳しくなっている。 ・開業から19年以上経過した施設の内外装・設備等には、老朽化がみられるようになってきている。	
③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 施設の老朽化に伴い、利用者及び指定管理者から、適切な維持管理が求められている。	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒	委託された指定管理者が施設を適切に維持管理することによって、市民や観光客が安全で快適に利用できるようになることから、観光資源の発掘と連携につながる事業である。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒	公共施設の適正な維持管理は市の義務である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒	本事業により、森林公園施設が適切に管理運営されるとともに、利用対象者となる市民や観光客に安全で快適に施設を利用してもらうことになるので、対象・意図ともに適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒	利用者の多様化するニーズに的確に対応し、より充実したサービスを提供することで、利用者数の増加が見込まれる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒	補助金を導入した施設のため、廃止・休止した場合は、相当の補助金等の返還義務が生じるとともに、同施設は五葉山自然公園内にあるため、適切に管理されなくなった施設が荒廃し、公園内の環境悪化を招くおそれがある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒	市が直営で運営することは不可能であり、適切な管理運営を行うためのノウハウを有している業者に委託することが最善の方法であると考えられる。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒	指定管理者との年度協定により、平成25年度まで年々削減する方向である。
	⑧ 人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒	通常業務のほか、施設・設備の故障時には現状の確認や修繕にあたって指定管理者との協議等が突発的に発生することから、これ以上の業務時間の削減は困難である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒	施設利用者には、受益者負担として地元民宿等民間事業者を考慮して設定した宿泊料や入浴料など、応分の負担をしてもらっていることから、公平・公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>利用者数は、利用計画者数とほぼ同数という実績であり、多くの方々に利用されるとともに、施設が適切に管理・運営された。 今後は、指定管理者の経営努力により、さらに集客を高めつつ、事業費の削減を図ることとしている。 また、施設の老朽化に対応した大規模修繕が必要である。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>指定管理者において利用者の多様化するニーズに的確に対応しながら、各種イベント等によって、集客の向上を図る。指定管理料については、契約期限である平成25年まで毎年度10万円ずつの削減目標を立てて実施しているが、今後は施設の老朽化に対応し、計画的な設備等の更新が必要である。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			●																		
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし。</p>																						

(職名) ※原則として施設の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	農林課長	
-------	------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>有効性に見直し余地があるものの、指定管理者である三陸ふるさと振興(株)では、基本協定・年度協定に基づき、利用者へのサービス向上に努めている。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>・現状どおり継続して事業を実施する。ただし、施設建設から20年以上が経過し劣化が進んでおり、計画的な修繕等を行っていく必要がある。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>
